

## はじめに

- ①本要項では、支柱用基礎工事が出来上がっていることが前提となっております。
- ②本要項では、歩掛積算にかかわらず施工作业員3名（以上）での共同作業が前提となります。
- ③本要項では、人力のみでの作業を前提としております。現地にてクレーン、ユニック等が用意できる場合は、作業がより安全で短時間に終了いたします。



注意：資材は可燃性ですので、火を近付けないで下さい。

・重量物ですから落下や転倒に充分気を付けてください。

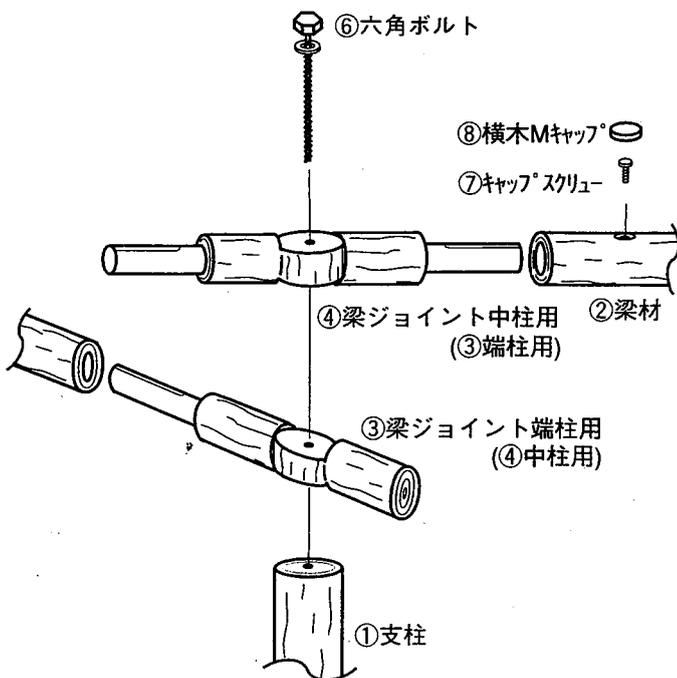
・吹き抜けを前提とした設計強度です。屋根状のものを付けますと強風時に転倒する恐れがあります。

## [1] 現地で用意する機材,工具,資材

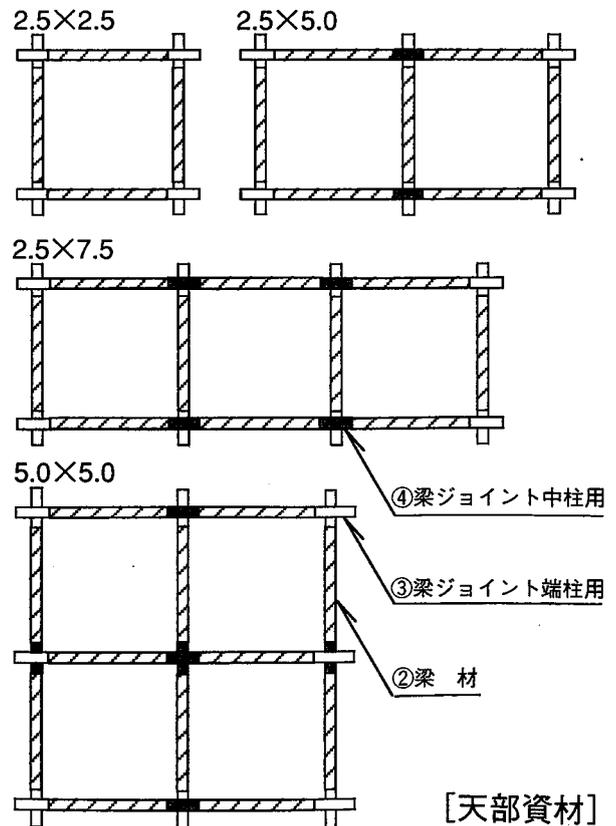
- ・脚立 3台
- ・添木及びクサビ（三角状木片）
- ・M12ボルト用ラチェットレンチ
- ・キャップスクリューM8用六角L型レンチ
- ・ペンチ
- ・シノ
- ・ハンマー
- ・番線
- ・コーキング剤（濃茶色）及びコーキングガン
- ・水平器

## [2] 送付資材

No	資 材 名	単重(kg)	必要数(本,個)			
			2.5×2.5	2.5×5.0	2.5×7.5	5.0×5.0
①	支柱 (φ150×3,000 鋼管芯材入)	49.0	4	6	8	9
②	梁材 (φ100×1,920 鋼管芯材入)	15.0	4	7	10	12
③	梁ジョイント端柱用 (φ100×940芯材入)	6.2	8	10	12	12
④	梁ジョイント中柱用 (φ100×880芯材入)	6.6	0	2	4	6
⑤	棚部材 (φ28×3,500 樹脂被覆鋼管)	1.8	16	29	42	52
⑥	六角ボルト (M12×180 ワッシャー付)	—	4	6	8	9
⑦	キャップスクリュー (M8×12)	—	8	14	20	24
⑧	横木マスキングキャップ	—	8	14	20	24
⑨	カラー鉄線 (#14 , 1kg/巻)	1.0	2	4	6	8



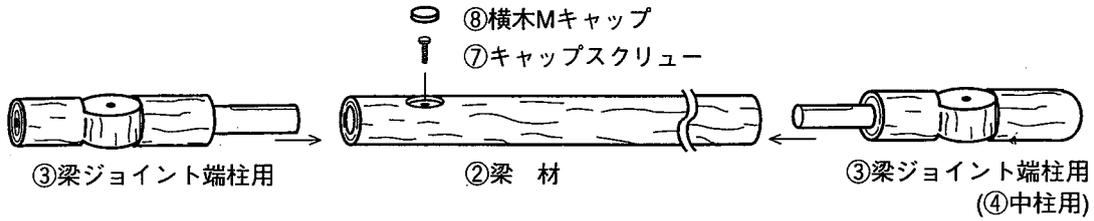
[天部施工イメージ]



[天部資材]

### [3] 施工手順

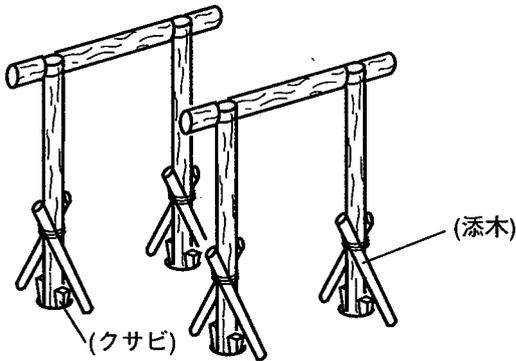
(1) 地上で側面側の梁を組立てる。



(2) 地上で支柱と梁を仮接合する。



(3) 側面側支柱を鳥居の形に立てて、添木あるいはクサビで仮固定する。  
※支柱の垂直、高さ及び梁の水平を調整する。



⚠注意: ①必ずボルトで仮固定すると。  
②転倒や落下に注意のこと。

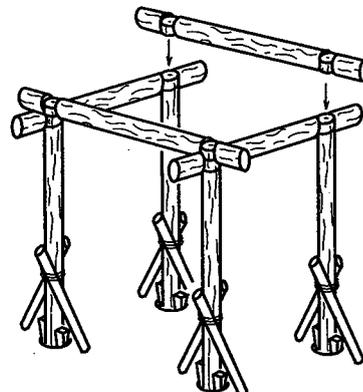
(4) 地上で正面側の梁を組立てる。

⚠注意: ①重量物の為、必ず1スパン毎の組立て施工のこと。

(5) 脚立等を使用し正面側の梁を設置する。

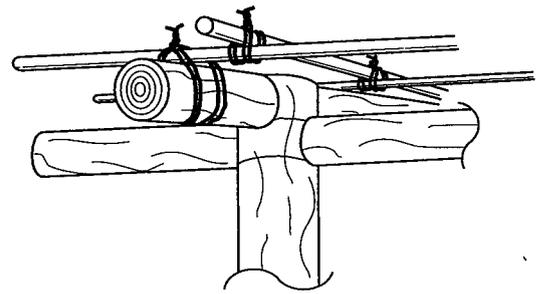
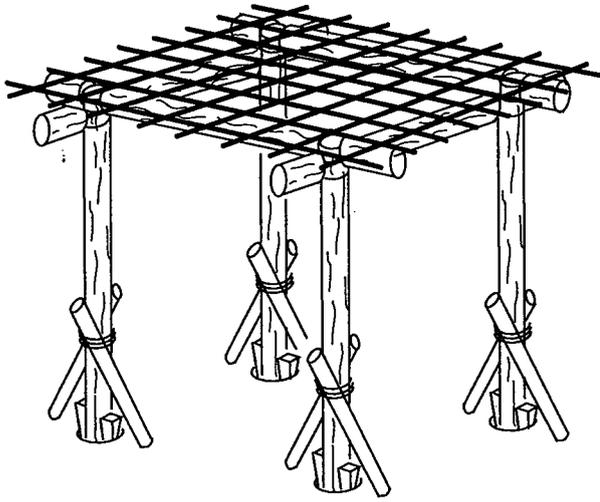
( (1), (2) で使用した六角ボルトをいったん抜いておく必要があります。また危険防止の為、抜く )  
前に番線等で支柱と側面梁を固定しておいて下さい。

- ・ボルトを仮接合後、再度支柱の垂直と梁の水平を確認する。
- ・確認後ボルトをしっかり締め付ける。



(6) 2連以上のスパンの場合、1スパン終了後、次のスパンの組立てを行なう。

- (7) 棚部材をカラー鉄線で縛る。
- ・ 交点全数接合を基本とします。またカラー鉄線は二重縛りとします。
  - ・ 梁と棚部材で 1 交点 200~220cm、棚部材同志の交点で約65cmの長さのカラー番線が必要です。



(8) 仕上げに、支柱と梁等の隙間をコーキング剤で補修します。

(9) 最後に、基礎の隙間にモルタルを流し込み固定します。

以上